



【茨城県でケアラー支援条例が施行されました】

2021年12月から茨城県においてケアラー支援条例が施行され、埼玉県に続いて全国で2番目を確保しました。この条例の制定により、家族など身近な人の介護・世話を担う「ケアラー」やその中でも18歳未満の「ヤングケアラー」を社会全体で支える機運が期待できます。

私が「ヤングケアラー」の実態を知ったのは2019年の新聞記事で、当時、取材を受けたのは岡田久美子氏(元埼玉県連会長で現在はみんなねっと理事長)でした。その頃からテレビなど報道で大きく取り上げられるようになり、世間も関心を示す社会問題になりました。

このように、我々全国の家族会も当事者や支援する関係者が抱える諸問題を正しく理解して、その解決に向けて声を出し、動き始めることが大切です。

家族会が抱える多くの課題は、2019年に実現を目指した「みんなねっとからの三つの提言」に整理されています。年の初めにこの内容を皆さんと共に読み直してみたいと思います。

1. 市民のメンタルヘルスケア(回復・保持・増進など)の充実のため、精神疾患の予防、早期発見、早期支援、重度化予防の啓発教育と地域メンタルヘルスサービスの構築が急務です。

具体的には①啓発教育の推進(小中高等学校教育・一般市民及び医療関係者への精神疾患及び精神障害の教育)②相談窓口の整備(早期相談支援体制の構築・24時間365日対応可能な相談窓口の開設・精神保健福祉の専門相談員及び訪問サービスの実施)③メンタルヘルスの責任を持つ支援センターの設置(一般医療機関との連携)

2. 精神科医療を一般医療と同等なものに是正する。具体的には①いわゆる精神科特例を廃止して、診療報酬や医師や看護師などの人員配置の水準を一般診療科と同等に是正する②当事者や家族が病状や治療について十分に理解し、どのような医療を選択するか、関係者と互いに情報を共有し、当事者の意思決定を支援させる。

3. 薬物治療中心から心理社会的支援重視の治療へ転換する。具体的には①本人・家族のもとに届けられる多職種チームによる訪問型支援・治療サービスの充実②当事者の尊厳と意見の尊重(オープンダイアログなど、対話型支援の充実)③心理社会的リハビリテーションの診療報酬化(家族心理教育、訪問家族支援)

これらは全国の家族会が永年に渡って実現を熱望してきた内容です。一部は茨城県連から県へ陳情を続けている内容でもあり、我々も運動の一端を担う年でありたいと思っています。・・・年始早々から固い話になりましたね!(会長 長瀬紀一郎)

これまでの主な活動(10-12月)

月日	項目	場所
10月6日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
10月7日	みんなねっと東京大会(ウェブ参加)	市民活動センター
10月8日	みんなねっと東京大会(分科会)	赤羽会館
10月9日	定例会	河内町中央公民館
10月19日	地域活動センター運営協議会	龍ヶ崎市役所
10月16日	婦人茶話会	総合福祉センター
10月27日	家族学習会	市民活動センター
10月31日	ゆっくら評議員会	ゆうあいワークイン
11月6日	定例会	利根町布川地区コミュニティーセンター
11月10日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
11月12日	県南かれん	総合福祉センター
11月20日	婦人茶話会	総合福祉センター
11月24日	家族学習会	市民活動センター
12月1日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
12月4日	定例会	市民活動センター
12月16日	県連理事会	水戸市福祉ボランティア会館



【 コロナ禍について(2) 】

第5波が収まり、日本国内の感染者数は本当に少なくなりました。経済活動が少しずつ回復してきています。ただ、海外に目を向けるとどうでしょう。気温の低下とともに欧州では感染が拡大しています。お隣の韓国も同様です。欧州も韓国も日本よりワクチン接種は先行していました。それなのに、何故感染が拡大しているのでしょうか？

専門家によると、日本は遅れたとはいえ、ワクチン接種が8割近くまで進んでいること、3密を避ける、マスクを着用する等の感染対策が守られていること、が挙げられています。また、日本国内のコロナウイルスが変異したために自壊したという真偽不明なニュースがネット上にありました。韓国ではファイザー、モデルナより有効性がやや劣るアストラゼネカのワクチン接種を受けた方々が、ブレイクスルー感染しているらしいです。

それでは、第6波は来るのかについて専門家は、第5波ほど感染者は増加しないが第6波はやってくると言っています。1月には感染者が増えるかもしれません。抗体価が低下してくるとブレイクスルー感染しやすくなりますので、ワクチンの3回目の摂取が必要です。

とても気になることですが、南アフリカでコロナ変異株(オミクロン株)が見つかりました。デルタ株より強力で感染者が指数関数的に増加しており、その変異株は香港でも検出されたそうです。日本国内に入ってくるのは時間の問題でしょう。

いつになったら日常に戻れるのか？ 考えるだけで憂鬱になります。居酒屋でお酒を楽しむのは、感染が落ち着いている今かもしれませんね(笑)。(この原稿は11月末に書きました)(T・H)

【 後期高齢者になって 】

人生100年とマスコミも言うが、少しオーバー。自分で何事も経験しないと分からないものです。これからも未知の体験を1年生として死ぬまで重ねていく重みに、新しい発見や寂しさも感じるが、75才で若くて元気な人も多く、一人暮らしで遅く生きる人達に感動を覚えたり、反省や感謝の私は又曲がり角に来ました。

怪我の功名(光明?)か、子供達もLINEのやりとりをしてくれていて、電話の声も心なしか優しさを感じる。娘は、片付けを手伝いながら、人生って短いね、とつぶやく。息子は、80才まで生きられればと言うと、「欲張りだなあ」と冗談。

弱い家族が私の病気を通して間の距離が縮まり、成長の一助になったのかなあ。

当の私も、自分の体を鑑みつつ、散歩や家事労働に心掛けている。これからも枯れ木の賑わいで頑張れたら幸せであるし、そうなるように努めたいと思っているこの頃です。

(K・C)

【編集後記】

新型コロナウイルス感染症は2年近くにわたり、私たちの日常生活やメンタルヘルスに影響を及ぼし続けています。2021年の漢字一文字は「金」、22年は「幸」が生まれることを「寅」も「いばらきアマビエちゃん」も祈っています。県南龍ヶ崎で2021年5月からひきこもり等の相談支援事業を、10月から一人ひとりのニーズに合わせたオーダーメイドの支援を目指す自立(生活)訓練事業をそれぞれ開始した当家族会発のイマココ龍ヶ崎の活動から、当事者にも家族にも生き抜く勇気が生まれるよう、心から応援しています。会員の皆様のご投稿、今年もお待ちしています。(T・K)

これからの予定(1月～)

月 日	項 目	場 所
1月5日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
1月14日	県南かれん	総合福祉センター
1月15日	新年会	市民活動センター
1月20日	県連県南ブロック研修会	牛久生涯学習センター(エスカードホール)
1月22日	役員会	市民活動センター

茨城県共同募金会の助成金により機関紙を発行できました。募金に協力していただきました皆様に感謝致します。